

REPORT

在宅看護におけるMDRPU の発生器具とその対策に 関する実態調査

2025.9.8 作成

はじめに

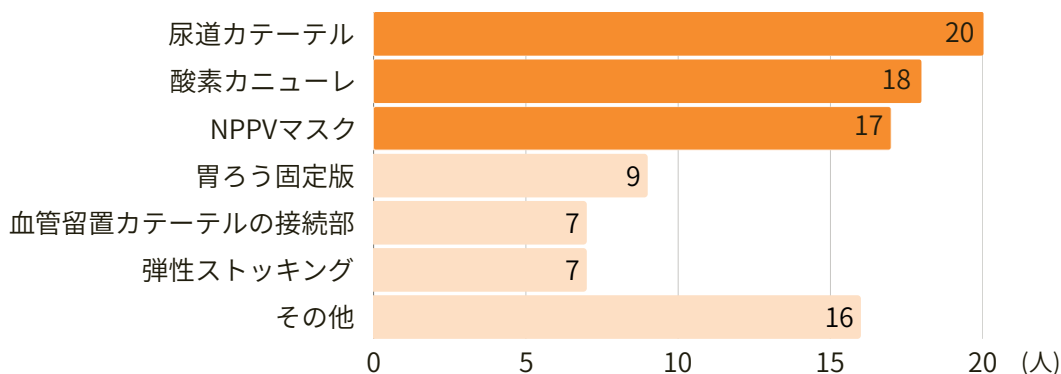
skinixは2025年5月、在宅看護におけるMDRPU対策の実態調査を行いました。
本レポートでは、36名の訪問看護スタッフから得られた回答を元に、在宅看護におけるMDRPUの現状と実際の対策を報告します。

※本レポートの著作権はskinixが保有しますが、著作権法上認められている引用などの利用について制限はございません。
引用の際は出典を明記してください。

1. MDRPU発生器具、部位の実態

MDRPUが発生して困っている器具や、その発生部位について調査しました。

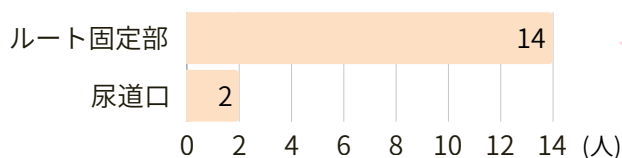
MDRPUで困っている器具は何ですか？(複数回答可)



在宅看護においてMDRPU発生の原因となりやすい機器は、尿道カテーテル、酸素カニューレ、NPPVマスクであることが分かりました。

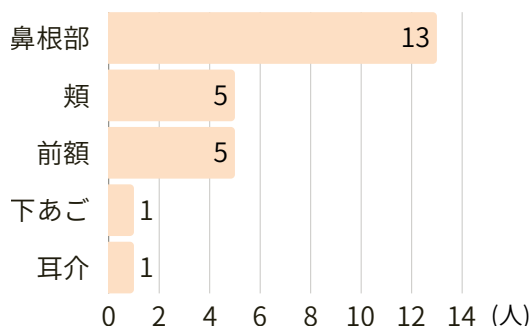
具体的に体のどの部位にお困りですか？

尿道カテーテル

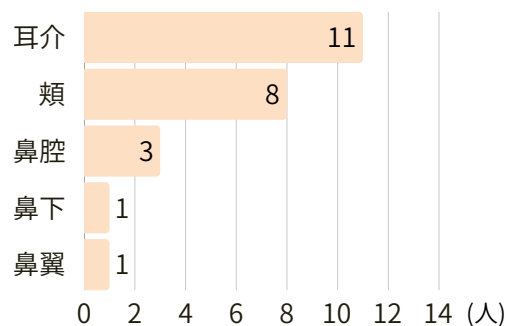


尿道カテーテルによるMDRPUの発生は下腹部や大腿部のルート固定部に集中しています。

NPPVマスク



酸素カニューレ

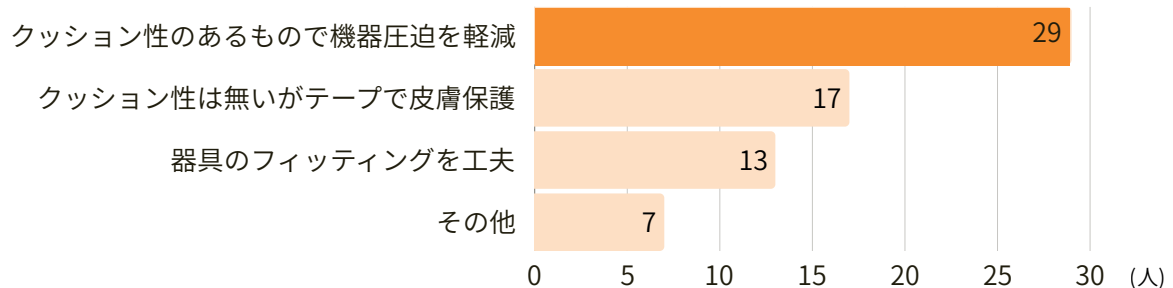


NPPVマスク、酸素カニューレは装着する際に接する部位がMDRPUになる傾向にあり、特にNPPVマスクの場合は鼻根部、酸素カニューレの場合は耳介に発生するケースが多いようです。

2. MDRPU対策の実態

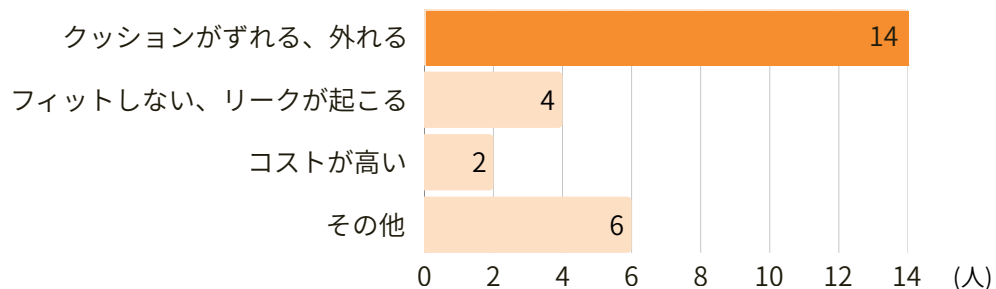
MDRPUに対して実際に行っている対策を調査しました。

MDRPUに対してどのような対策をしていますか?(複数回答可)



MDRPUの対策として、多くの人がクッション性のあるガーゼや創傷被覆材などを用いて機器の圧迫を軽減していることが分かりました。また、絆創膏や化粧用コットンを使用するケースもあるようです。

現状のMDRPU対策でどのような問題が発生していますか?



MDRPU対策の上で起こる問題としては、ガーゼなどがずれてしまって効果を発揮しないというケースが最も多く見られました。また、NPPVマスクなどにおいては、クッション材を挟んだ結果段差が生じてリークを起こしてしまう、創傷被覆材を使おうとするとコストが高いという意見もありました。

まとめ

- 在宅看護においてMDRPU発生の原因となりやすい機器は、尿道カテーテル、酸素カニューレ、NPPVマスクであることが分かりました。
- MDRPUの対策については、原因となる圧迫を軽減するためにガーゼや創傷被覆材などのクッション性のあるものを使用するケースが多いことが明らかになりました。しかし、使用するガーゼなどがずれてしまうケースが多く、NPPVマスクなどの場合、クッション材がフィッティングの妨げになるケースもあるようです。このことから、クッション性を持ちつつも、ずれにくく、フィッティングしやすい安価なクッション材が求められていることが分かります。また、尿道カテーテルの場合にはカテーテルによる圧迫がMDRPUになるという意見が多く、オメガ固定するなどの工夫が簡単にできることが求められていることが分かります。